

特集

未来を担う若者と、 飛躍の年を誓って。

新年を迎え、山口知事と佐賀の未来を担う大学生・短大生が対談！
佐賀に対する想いや夢などを語り合いました。

◆ 知事：明けましておめでとうございます。
佐賀はどんなところ？

◆ 西田：佐賀は、行政や地域が開催するイベントがいつもどこかであっていて楽しいですよ。

◆ 吉尾：佐賀って住みやすいところです。家の周りは田んぼだらけで農業が盛んですし、新鳥栖駅が近いのでよく旅行に行くようになりました。

◆ 小副川：実家のりんご園で、花が咲いて実がなって…という中に四季の移ろいを感じますし、佐賀は自然が素晴らしいですよ。お店で食べる定食の食材すべてが佐賀県産だったり、安全で美味しいものがたくさん食べられます。佐賀に生まれてよかったな、とよく思います。

◆ 知事：暮らしやすさや本質的な豊かさも佐賀の魅力だよ。佐賀は「何も無い」ではなく「無いものは無い」んです。皆さんにいろんな経験をしてもらえるよう、もっと素晴らしい環境を作っていきます。

将来の夢は？

◆ 小副川：僕は高校からアーチェリーをやっている、2023年に佐賀で開催される国民スポーツ大会（国スポ）に向けて競技者として頑張ります。その後は、指導者として運動不足の方や高齢者にスポーツの良さを広めて、佐賀をスポーツが盛んな県、多くの人が運動して健康な県にしていきたいです。

◆ 知事：去年の国体で、高校生の女子バスケット選手を激励しました。そしたら強豪チームに勝ち、48年ぶりに入賞したんです。若い人は、気持ちの前めりになった時、ときにすごいパワーが出るんだよ。佐賀にスポーツのすばらしさが財産として根付いてほしいね。

◆ 吉尾：私は就職で佐賀を離れますが、いずれば佐賀に帰って薬膳カフェを開きたいです。地域の伝統料理も、子どもたちに伝えていきたいですね。

◆ 西田：春からは、佐賀を離れることになりましたが、公務員として、いろんな地域の安全を守っていきます。

◆ 金丸：私は春から、自分が卒園した園で保育士として働きます。佐賀から出たくなくて(笑)。子どもたちに佐賀の良さや、ふるさとの誇りを伝えていけたらと思っています。

◆ 知事：鮭みたいに園に帰ってきたんだね。(一同笑い)

◆ 知事：おすそわけや物々交換の文化も素敵だよ。ただ、佐賀の農産物には大きな価値があることも伝えたいです。みんな謙遜するけど、銀座や海外では10倍の値段がつくような、すごいものを作っているんです。みんなにもっと価値を知ってほしくて食のブランド化にも取り組んでいます。

◆ 西田：香港に行った時、現地の人に佐賀牛が認知されていて「すごい！」と思いました。「良いもの」という価値を相手にわかってもらえるような取り組みは大切ですね。

◆ 知事：高度経済成長期の頃は、人々は物質的な豊かさを求めていたけど、今は災害や異常気象など、将来のリスクを考える時代になった。これからは佐賀のような本質的に素晴らしいものがある地域の存在が浮かび上がってくるんです。東京2020大会のフィナンランド選手団には、豊かな自然やほっとできる地域、優しい人達など、佐賀の魅力やホスピタリティを気に入ってもらいました。佐賀は魅力に溢れているんです。

◆ 知事：高度経済成長期の頃は、人々は物質的な豊かさを求めていたけど、今は災害や異常気象など、将来のリスクを考える時代になった。これからは佐賀のような本質的に素晴らしいものがある地域の存在が浮かび上がってくるんです。東京2020大会のフィナンランド選手団には、豊かな自然やほっとできる地域、優しい人達など、佐賀の魅力やホスピタリティを気に入ってもらいました。佐賀は魅力に溢れているんです。

◆ 小副川：国スポに向けて、佐賀のスポーツ環境がもっと整ってほしいと思います。県外ではなく佐賀の大学を選んだので、競技者として佐賀に恩返しをしたいと思います。

◆ 西田：祖父の家が佐賀にあるので、長生きしても安心して生活できる県になってほしいですね。

これからの佐賀

◆ 小副川：国スポに向けて、佐賀のスポーツ環境がもっと整ってほしいと思います。県外ではなく佐賀の大学を選んだので、競技者として佐賀に恩返しをしたいと思います。

◆ 知事：吉野ヶ里が栄えた時代、全国から大名が集まった名護屋城が築かれた時代、明治維新など、佐賀県は節目節目で大きな役割を果たしてきました。そろそろまた出番が来る頃だと思っていますので、皆さんの若いチカラに期待しています！

◆ 今年には日本初のアジアベストレストラン50が佐賀県で開催されます。また吉野ヶ里町に県内初となる森林を活用したアドベンチャーパークも完成します。佐賀県も飛躍の年になりたいと思っていますので楽しみにしてください！



久留米出身ですが、大学で九年庵や下村湖人家のPR動画制作をして、佐賀の歴史や文化の奥深さを学びました。

西田 宗一郎さん
4年生
芸術地域デザイン学部

大学で須古寿しや巻き柿などの郷土料理をつくる機会があり、豊かな食文化や伝統を知りました。ムツゴロウが意外とおいしくてびっくりしました。

吉尾 咲里奈さん
2年生
地域みらい学科

地域に守られながらのびのびと育ったと感じています。そんな佐賀の良いところを子どもたちに伝えられる保育士になりたいです。

金丸 さくらさん
2年生
保育学科

SSPについて大学で学ぶ機会があり、競技者としてだけでなく、指導者の道も考えるようになりました。

小副川 拓臣さん
2年生
スポーツ健康福祉学科

西九州大学
「あすなろう精神」を根底に、生活支援を科学し実践します。

九州龍谷短期大学
現場で学ぶ実習を多く取り入れ、実践力を身につけます。

佐賀女子短期大学
前向きでしなやかな精神で「地域に必要とされる人」を目指します。

佐賀大学
幅広い分野で、先端的研究施設等を活用し地域の課題解決に取り組みます。

ホームページはこちら

ホームページはこちら

ホームページはこちら

ホームページはこちら